



社員を信じ社員の自主性に委ねる社風 「いい会社」とは何かを考える



山崎 泰

TFS 国際税理士法人 理事長・代表社員
（株）TFS パートナース 代表取締役（新宿支部）

■「日本でいちばん大切にしたい会社」

先月末、私が副塾長を務める東京都倫理法人会・後継者倫理塾が主催し、「日本でいちばん大切にしたい会社」の著者でもある、坂本光司・法政大学大学院政策創造研究科教授をお招きして、記念講演会を開催しました。

坂本光司教授は、日本全国約7,000もの会社を自ら訪ね歩いた現地調査をもとに、まさに企業の範となるような「日本でいちばん大切にしたい会社」を紹介し続けてきました。単行本化されたシリーズは、これまで全5巻、累計で70万部ものベストセラーです。そして、「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」まで開催されています。

講演の中で紹介されていたのが、岐阜県に本社を置く未来工業株式会社です。この企業は、日本で“もっとも休みの多い会社”ともいわれているのです。

1日の労働時間は、7時間15分。年間休日は約140日で、年末年始休暇は何と12月24日から1月15日まで連続20日間です。残業はゼロ（もちろんサービス残業もなく、残業をすると罰金）で、育児休業は3年間もあります。5年に一度は社員全員で海外社員旅行を実施します。800人の社員全員が正社員。営業のノルマもなし。定年は70歳。60歳を超えても賃金が下がらない。

しかも、入退社のタイムレコーダーがないのです。遅刻した本人が一番分かっているのだから、その分、休憩時間を短縮したり生産性を上げることで、自主的にカバーする風土だというから驚きです。

「エーッ！ そこまでして大丈夫なの?」と、思わず心配し

たくなるくらい、“社員に優しい”会社なのです。

■社員の「やる木」を育てるために

社長のポリシーは、「社員が喜んでくれることなら何でもする!」ということです。勤務日数や時間が短くなっても、社員のモチベーションが高まったことにより、売上高・利益額は下がらなかったといいます。

社内には、「常に考える」という言葉が、至る所に貼られているそうです。未来工業では、社員が自分で考え、工夫して行動することが、会社全体を貫くテーマであり、全社員による「改善提案制度」が「日本でもっとも休日の多い会社」たることを可能ならしめている原動力のようです。

その結果、約800人の社員数で、1年間で1万数千の改善提案件数が出るそうです。さらに約1,000もの新商品が開発されたというので、本当に驚きです。

未来工業では、思いついたことを気軽に「アイデアを出すだけ」でもよく、出された提案はどんな提案にも「参加賞」として500円が支給されます。そして会社は、できるかぎり提案を取り入れます。社員が自ら考え、アイデアを出し、会社から認められることで、新たな提案さらには商品開発につながり、ひいては会社の発展にも貢献していく、ということなのです。つまり、徹底して社員を信じ、社員の自主性に委ねているのです。そのためにも、外せる制約はできるだけ外し、社員の「やる木」を育てることに徹しています。

社員重視に徹し続けて、ひいては上場まで果たしている企業なのです。まさに羨ましいような“範”となる会社に映ります。

■「いい会社」に共通することとは？

好不況を問わず、赤字を出さずに好業績を持続する「いい会社」に最も共通しているのは、いわゆる「経営資源の有無・レベル」「経営戦略・経営手法」ではなく、「経営目的・使命に対する考え方」だと、坂本教授は著書の中で断言しています。「いい会社」に共通する「経営目的・使命」は、業績を高めることでも、シェアやランクを高めることでも、ましてやライバル企業との勝ち負けを競うことではなく、『人』の幸せを追求することなのです。そして、そのことを最も大切にしたい経営活動を一貫して行うことです。

「いい会社」が共通して大事にしている『人』とは、

- ①社員とその家族
- ②社外社員（仕入先・協力企業等）とその家族
- ③現在顧客と未来顧客
- ④地域住民とりわけ、障がい者等の社会的弱者
- ⑤出資者・支援者

——のことを指しています。

いつでもどこでも、自社がやっていること、やろうとしていることを「会社に関係する人々の幸せづくりにとって、この考え方・経営は正しいか、自然か」を軸足に判断して、ぶれない経営を実践し続けている、と結んでいます。

坂本教授の7,000社ものフィールドワークの中には、印刷業とも通ずる労働集約型の製造業種も多く、かつ東京に比べて立地・商圏が良いとはいえない地方に位置する「いい会社」も少なくありません。東グラ経営塾としても、重みをもって受け

いい会社の100の経営指標 合計欄	
1. 社員に関する指標	点
2. 社外社員（仕入先・協力企業等）に関する指標	点
3. 現在顧客と未来顧客に関する指標	点
4. 高齢者・女性・障がい者に関する指標	点
5. 経営者に関する指標	点
6. 社員の確保・育成・評価に関する指標	点
7. 福利厚生等に関する指標	点
8. 社会貢献活動に関する指標	点
9. 中長期経営計画・経営理念等に関する指標	点
10. 経営全般に関する指標	点
合計（100点満点）	点

出典：「日本でいちばん大切にしたい会社」がわかる100の指標（朝日新書）

止めたいものです。

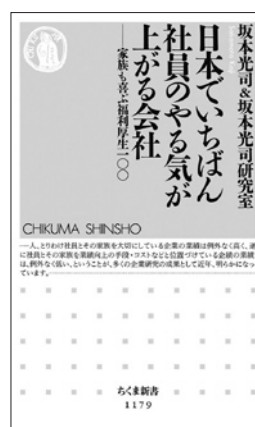
坂本教授の「選ばれる企業、捨てられる企業」というキーワードが、今でも深く心に残っています。是非とも「選ばれる企業」たり得る経営を続けたいものです。

「日本でいちばん大切にしたい会社」講演会には、当社社員も複数名参加してくれました。そして翌週、当社の全体ミーティングも早速、未来工業の“長期年末年始休暇”の話題になりました。坂本教授から未来工業の話をお聞きしてまだ数日後だけに興奮冷めやらず、思わず感化されて(?)当社も年末年始の長期休暇を決定してしまいました。

社員全員、とても嬉しそうな顔をしてくれたので、良かったと思っています。早いもので、今年も残すところ2ヶ月を切りましたが、来年に向けて、社員の「やる木」につながってくればと、ひそかにドキドキ祈るばかりです。



「日本でいちばん大切にしたい会社」がわかる100の指標（朝日新書）



「日本でいちばん社員のやる気が上がる会社」（ちくま新書）

| ご相談・お問い合わせ先 | TFS国際税理士法人（認定経営革新等支援機関）・TFS行政書士法人・TFS社会保険労務士事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-11 山一ビル5階 TEL.03-3225-6400（代表） FAX.03-3225-6405（代表）

[E-mail] tax@yama-tai.jp [FB] https://facebook.com/tfs.taxoffice [HP] http://www.tfsnavi.jp/pc/ [ブログ] http://blog.goo.ne.jp/yama-tai61